

- ◆目的 学校における消費者教育の推進
- ◆委員 教育委員会職員，小，中，高等学校の教員
- ◆事務局 消費生活センター
- ◆活動 年3回の会議，研修会，「消費者教育の視点を持った授業」の計画と実践
消費者教育授業実践事例集の発行



みんなの明日をつくるため



- ・消費者教育は、今日の課題そのものを含んでいます。また、すべての教科に行き渡っているものです。 教育研研究所 齋藤世利子 所長（座長）
- ・すべての市民に消費者教育を受ける機会を提供しなければなりません。 消費生活センター 鈴木茂美 所長

・・・あらゆる教科と教育に関わっています・・・

食育・環境教育・国際理解教育・金融経済教育・情報教育・安全教育・心の教育・キャリア教育・・・

2月26日（水）平成25年度 第3回柏市消費者教育推進連絡会（今期最後の会議でした）

＝2年間活動いただいた委員のお名前と、2年間を振り返っての感想です＝

委員の先生方、ご協力いただいた小，中，高等学校の皆様、どうもありがとうございました。

教育研究所 齋藤 世利子 所長（座長）		指導課 福田 裕司 指導主事	
柏第二小学校 三浦 壮介 先生	柏第三小学校 田中 竜一 先生	田中北小学校 東條 正興 先生	柏第八小学校 松本 晃一 先生
酒井根小学校 杉本 祥子 先生	酒井根西小学校 永井 久美子 先生	風早南部小学校 平井 彩子 先生	酒井根中学校 宇佐見 善雄 先生
逆井中学校 萩原 亜希子 先生	大津ヶ丘中学校 岩岡 直美 先生	柏市立柏高等学校 春日 及子 先生	柏日体高等学校 布施 裕人 先生

- ・どの教科でも実践でき、構える必要はないと感じた。
- ・国語でも社会でも、授業をしたときに「これが消費者教育だ」と探す視点ができた。
- ・数学も実生活に関連させることで、より身近に、意欲的に取り組むことができると実感した。
- ・他教科の先生とも関わりを持って連携していきたい。
- ・消費者教育の敷居を低くしたい。 / 言葉だけでは難しい。教員研修会などで広めていけたら。
- ・何年かで、全部の学校の先生が委員になるようにするといいい。
- ・1から作るのが大変なときは、互いに連絡を取り合って資料のやり取りをするとよい。
- ・交通安全教室のように、全学校で必ず実施するようにならないだろうか。

消費者教育の視点を持った授業 中間報告その2



三浦先生 第5学年 家庭科

自分の使ったお小遣いが、遠い国の子どもの生活につながっていることにびっくり！



物やお金の使い方を見直し、かしこいお金の使い方を考えました。

田中先生 第5学年 家庭科

学年も教科もつながっていく…
横断的、縦断的実な実践になりました！



児童が様々な発電方法を調査。環境への影響を考えたエコ生活の実践を目指します。

松本先生 第5学年 社会科

その薬では、効きません！みんなが自分の症状に合わない薬を買うのはなぜ？



CM だけではわからない、自分に有用な情報の得方を考えました。

岩岡先生 中学校 家庭科

50%⇒78%に増えました、(^ v ^) /
環境を考えたエコ生活実践者！



今回は、生ゴミの排出量に焦点を絞ったエコクッキングに挑戦しました。

春日先生 高等学校 家庭科

運転免許「誰が払うの？」「親でしょ」
・・・に、ちょっと待って！



もう3年生。自分のライフプランの実現と、お金の関係に気づくことが、第一歩です。

布施先生 高等学校 化学基礎

買おうとしたお茶にビタミンCが添加されていたら、疑問を感じますか？



食品に含まれる科学物質には役割がある。知識を身につけて商品選択に活かそう。

上記実践の詳細は、No. 6でご紹介した実践と合わせて「消費者教育授業実践事例集IV」にまとめます。
4月までには、各学校にお届けする予定ですので、ぜひご活用ください！

【問合せ先】消費生活センター 電話：7163-5853 FAX：7164-4327

